

校 園 名： 富 山 大 学 人 間 発 達 科 学 部 附 属 中 学 校

キ ー ワ ー ド： 地 域 の モ デ ル 校 と し て

1 研修の共有、共同の研究

地域における学校教育のセンター的役割を果たすとともに、教育理論を実践する場や実践的研修の場を提供するなど、研究活動の活性化を図っている。具体的には、富山県内の公立小中学校の校内研修へ講師を派遣し、学習評価問題や学習指導案の作成について助言を行うなど、地域の学校の教育改善に貢献している。

○【他校へ呼んでもらう】

- ・他校の校内研修に呼んでもらい、助言する。
- ・指導主事等を招聘するよりも気軽に。
- ・短時間でも、県内(外)どこへでも。

○【本校に来てもらう】

- ・本校の校内研修を公開し、他校の教員に参加してもらう。
- ・研究協力者として研究室に来てもらう。
- ・日々の学習指導の悩みに答える。



2 研究授業の公開、他校との交流

毎年行っている教育研究協議会に加えて、現職教員にとって効果的な研修となるよう、回数、日程、方法等を改善しながら、研究授業を積極的に公開している。平成28年度は、現職教員が参加しやすい7月から12月までの間に7回の授業を公開するとともに、夏季休業中に、道徳の教科化に向けた道徳教育講演会を公開した。中でも、国語科、英語科の公開授業・協議会では、学部・教職大学院教員の次期学習指導要領を踏まえた「教科で育成すべき資質・能力を明確にした授業づくり」等の指導助言により、授業改善に向けて、現職教員の指導力や専門性を向上させることができた。

3 県教育委員会との連携

富山県教育委員会と連携して、校内研修活性化研修会の提案授業等を行っている。また、教育研究協議会は、教員免許状更新講習、11年次教職員研修の講座としても認められており、研修受講者を受け入れ、研究(研修)の先導的な役割を果たしている。

問 い 合 わ せ 先： 富 山 大 学 人 間 発 達 科 学 部 附 属 中 学 校 〒930-8556 富 山 県 富 山 市 五 艘 1300 076-445-2806